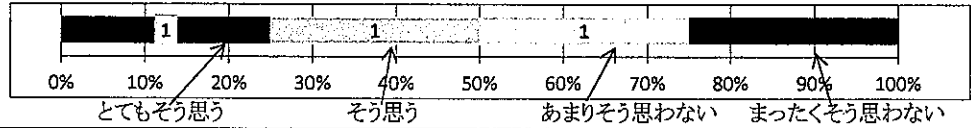


児童アンケート集計結果

令和5年12月実施

凡例

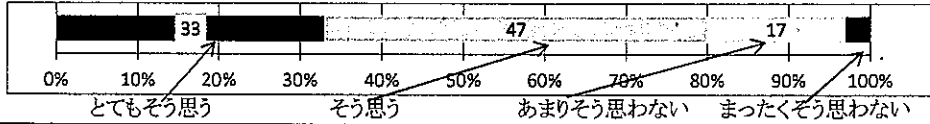


評価項目	回答別割合 (%)	平均 4段	分析
1 学校や学級は楽しいですか	61 34 3	3.6	95%の児童が「学校や学級が楽しい」と答えています。次年度も、特別活動や学校行事を充実させて、楽しい学級づくりの構築を目指していきます。
2 自分からすすんで、明るいあいさつができていますか	32 43 20 5	3.0	1回目と比べるとあいさつの習慣は身に付いている児童は4%減少しました。引き続き「自ら進んで」しっかりとあいさつの出来る児童の指導を行ってまいります。
3 授業は、わかりやすく楽しいですか	46 42 10	3.3	「学びのたしかめ」「全国学力学習状況調査」などの結果は徐々に向上しています。今後は、学力向上推進の取組を強化し、2月の「到達度調査」に向けて全校体制で学力課題への対応をして参ります。
4 生き物のいのちを大切にしたり、思いやりをもって友達を大事にしていますか	63 34 2	3.6	97%の児童が「いのちは大切だ」と思っています。学校の教育目標に命の大切さを中心に取り組んでいます。今後とも、各学級においても実態に応じて協力、思いやり、等の授業を実践し、児童の心の教育を行います。
5 身の回りの整理整頓や学校・授業のきまり[学習の約束]はきちんと守っていますか	37 47 14	3.2	「授業の心構え十ヶ条」を基に、支持的風土の土台である身構え・物構え・気構えを中心に、学校全体で身の回り整理整頓や学校生活・授業のきまりについて引き続き取り組んでいます。
6 ふわふわことば[ありがとう・ごめんね・すごいね]をたくさん使っていますか	43 43 12	3.3	いじめの未然防止、のぞましい人間関係の構築のためにも、他人の心に気遣った言葉の使い方は大切です。ふわふわ言葉の使用を継続し、今後は更に伝え方等も工夫できるように推進して参りたいと思います。
7 家庭学習を毎日していますか	52 34 10	3.3	86%の児童が取り組んでいます。「やらされるのではなく、自ら進んで行う」家庭学習を目指し取り組んでいます。
8 早寝・早起き・朝御飯をしっかり続けていますか	44 36 16	3.2	結果は第1回目と同じです。家庭において生活の基盤をしっかりと整えることは大切なことです。アンケートの結果は十分とは言えませんが、今後もご家庭と連携した取組を充実させていきます。
9 友達や先生の話を最後まで、しっかりきくことができますか	44 47 8	3.3	結果は1回目と同じです。人の話をしっかりと聞ける子は、しっかりと話すこともできるようになります。コミュニケーションの基本となる「聞く力」を授業をはじめとした日々の教育活動の中で身に付けさせていきます。今後とも家庭での声かけ、励まし等も宜しくお願いします。
10 給食は好き嫌いせずに、楽しく食べていますか	47 33 16	3.2	今年度は栄養教諭と連携した食の授業も行いました。アレルギー等、個々の児童の特性に注意を払いながら、生きていく上で最も大切である食の大切さを食育を通して育成します。
11 「いかのおすし」を守っていますか	79 17 4	3.7	教職員の危機管理能力を高めるとともに、学校において定期的な避難訓練を通して、児童の危機回避能力を高めていきます。また、「スクリーン」等の学校メールを活用し、不審者情報を発信し、家庭と連携して緊急時の対応を行ってまいります。
12 自分のことが好きですか	42 29 19	3.0	自分の良さに気づいたり、それを伸ばしていこうという心を育てます。1回目と比べると5%向上しましたが、自己肯定感の高まりは十分とは言えません。今後何事にも自信を持って取り組める児童の育成をめざします。
13 前日、時間で時間割を調べ、自分で忘れ物がないよう準備できていますか	46 36 14	3.2	結果は1回目と同じです。落ち着いた学習し、しっかりと授業に取り組むためには、学習の準備は大切です。今後とも家庭との連携を密にし、協力して粘り強く、子どもたちの凡事徹底を推進していきましょう。
14 将来、どんな仕事をしたいか、夢がありますか	69 17 9	3.5	最近、お昼の校内放送を通して、自分の夢を語る児童が増えてきました。学校では「夢紹介」という取組を通して児童の夢を育むキャリア教育や特別活動、総合的な学習の時間に取り組んでいます。今後とも取組を継続し、意欲を高めていきます。
15 古蔵小学校は、あなたが通いたい学校になっていますか	67 27 4	3.5	結果は1回目と同じです。「学校や学級は楽しい」と答えた児童は94%となっています。今後は更に、「学ぶことが楽しい」と思える授業づくりに取組み自己肯定感を高める指導に取り組んでいきます。

保護者アンケート集計結果

令和5年 12月実施

凡例



評価項目	回答別割合 (%)	平均 4段	分析
1 学校は児童がよく学び、仲良く助け合う学校をつくっている。	24, 72, 40	3.2	児童の教育活動が徐々にコロナ前に戻ってきました。行事等を通じて、児童の元気な声や姿が多く見られるようになりました。今後とも、児童がともに関わりを持ち、楽しいと思える学校づくりをしていきます。
2 学校は保護者・地域と連携し開かれた学校をつくっている。	21, 56, 22, 1	3.0	前回に比べて「開かれた学校づくり」への意識が高まりました。「ホームページ」や「スクリーン」等を活用し、学校の様子や重要なお知らせを随時発信していきます。今後とも、学校との連携・協力を宜しくお願いします。
3 学校は児童理解に努め、思いやりと温かさのある指導を行っている。	25, 67, 8	3.2	前回に比べて向上が見られました。今後とも子どもたちの心に寄り添った指導を継続していきます。
4 お子さんは当該年度の学習内容が定着している。(確かな学力の向上)	26, 62, 11	3.1	校内研修では自己肯定感の高まりを目指し、全教職員体制で取り組んでいます。基礎的・基本的な学習内容を重視し、学力調査対策も実施していきます。
5 お子さんは家庭学習が習慣化している。(確かな学力の向上)	22, 71, 70	3.2	今後とも、自学ノートや授業と連動した宿題の取り組みを継続し、学校と家庭が連携することで、お子様の家庭学習の定着をめざしていきます。引き続き宜しくお願いします。
6 お子さんは望ましい生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)が定着している。	30, 51, 19, 0	3.1	アンケートの結果を見ると第1回目と比べて向上していることが分かります。のぞましい生活習慣の確立は、家庭においてお子様との共通理解が大切です。学校とも連携し、更なる定着をめざして行きましょう。
7 お子さんは家でも読書をしている。	33, 47, 17	3.1	第1回目と比べて向上していることが分かります。毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書」を活用し、ご家庭でお子さんと一緒に読書を行う時間を確保して頂きたいと思えます。学校では、図書館の活用も引き続き推進していきます。
8 お子さんは家や地域であいさつをしている。	33, 49, 17	3.1	児童会や生活委員会を中心に、定期的なあいさつ運動に取り組んでいます。自ら進んであいさつができる児童が増えてきています。今後とも家庭での声かけをお願いします。
9 お子さんは身の回りの整理整頓ができています。	16, 63, 21, 0	3.0	第1回目と比べると向上しています。身の回りの整理整頓をしっかり行うことで、学習に集中する力や気持ちのよい生活を送ることができます。日々の生活習慣が基本となりますので、これからも継続してお声かけをお願いします。
10 お子さんは好き嫌いせず食べる習慣ができています。	25, 45, 30, 0	3.0	前回と結果は同じです。食べることは生きる上で最も大切な営みとなります。正しい食習慣の形成、食の楽しさなど、栄養教諭や担任と連携し食に関する授業を行っています。今後とも健全な食生活が実践できるよう子の育成を図ります。
11 お子さんは安全な行動が身についている。(日常の行動・交通安全・不審者対応・避難訓練等を通して)	27, 67, 51	3.2	前回よりも向上が見られます。不審者訓練や避難訓練等を通して緊急時の対応の仕方についても学んでいます。家庭に対しては、「スクリーン」等を通じて情報発信を連携していきます。
12 お子さんの前日の学習準備が習慣化し、忘れ物をほとんどしない。	26, 63, 10	3.1	前回よりも向上が見られます。今後とも、学習用具を大切に、見通しを持って物事の準備をすることが学力向上をはじめ、リズムのある生活習慣の形成に大変重要です。保護者と学校が連携し、生活の基盤を強化していきましょう。
13 お子さんは将来の夢・希望を持っている。	19, 52, 25	2.9	前回よりも向上が見られます。今後とも、児童が将来への興味・関心を高め、児童のキャリア発達を促す取組を行っています。お子様の夢の実現に向けてサポートしていきましょう。
14 目指す家庭像を実現できるようつとめている。	25, 62, 10	3.1	前回よりも向上が見られます。あいさつをする、時間を守る、身の回りのお片付けをする等、基本的な生活習慣の確立は、人間性を育む上で大切です。お子様の成長のために、今後とも、ご家庭での取組もご協力をお願いします。
15 古蔵小は、お子さんを通わせたい学校になっている。	25, 65, 8	3.1	生命を大切に、安心して過ごせる学校、一人一人の個性を大切に、学ぶ楽しさや自己肯定感の向上のために、これからも、学校・家庭地域が連携した取組をしていきます。